

初任者研修 演習1日目・2日目

「相談支援の実際」

～ケアマネジメント手法を用いた相談支援プロセスの具体的理解～

名古屋市総合リハビリテーション事業団
瑞穂区障害者基幹相談支援センター
センター長 小島 一郎

このカリキュラムの内容と流れ

- ◎ 初任者研修 演習1日目2日目の全体像を再確認し、各都道府県での取組内容を振り返る。
- ◎ 各都道府県での工夫や課題をグループ内で共有し、気づきを得る。

標準カリキュラム⇄カスタマイズ

時間	内容	担当者
10:10～10:25	講義とグループワークの説明	小島
10:25～10:50	グループワーク * 3～4分/人	橋詰・岡西 岡村・小島
10:50～11:00	発表と講師コメント	小島
11:00～11:10	休憩	

「相談支援の実際」(初任者研修 演習1日目・2日目) ～ケアマネジメント手法を用いた相談支援プロセスの具体的理解～

科目	獲得目標	内容
受付及び初期相談並びに契約	基本相談支援の実際について修得する	主訴の把握、関係性の構築 面接技術、記録
アセスメント(事前評価)及びニーズ把握		情報収集、ニーズ整理 *アセスメントのためのフォーマット
目標の設定と計画作成	基本相談支援を基盤とした計画相談支援の実際について修得する	サービス等利用計画案作成 模擬サービス担当者会議
評価及び終結		モニタリング、終結のタイミング

「相談支援の実際」に盛り込むべき内容のチェック

	盛り込むべき内容	工夫や課題
①	ケアマネジメントプロセスに沿った演習展開	
②	演習の目的に適したモデル事例の準備	
③	初期相談を想定した模擬面接、コミュニケーションへの配慮	
④	情報収集～ニーズ把握の思考過程	
⑤	ジェノグラムやエコマップといったツールの活用	
⑥	ストレングスモデル、生物・心理・社会モデル、ICF等の活用	
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成	
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用	
⑨	模擬サービス担当者会議の体験	
⑩	モニタリングの理解と記録の作成	
⑪	相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行	

これからのグループワークは…

【10:25～10:50】

- チェックした内容をグループ内で共有(3～4分/人)
- 他の都道府県の工夫や課題から気づきを得る

ま と め

	盛り込むべき内容	工夫や課題
①	ケアマネジメントプロセスに沿った演習展開	
②	演習の目的に適したモデル事例の準備	
③	初期相談を想定した模擬面接、コミュニケーションへの配慮	
④	情報収集～ニーズ把握の思考過程 ☆	
⑤	ジェノグラムやエコマップといったツールの活用	
⑥	ストレングスモデル、生物・心理・社会モデル、ICF等の活用	
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成	
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用	
⑨	模擬サービス担当者会議の体験 ★	
⑩	モニタリングの理解と記録の作成 ★	
⑪	相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行	

身近にある資源の活用
→地域生活の継続
つながりが広がる
社会参加の機会が増える
本人らしく暮らす